

貧酸素水塊速報 (2018年)

【発行】 ○ 千葉県水産総合研究センター
 神奈川県水産技術センター
 千葉県農林水産技術会議
 内湾底びき網研究会連合会

【協力】 千葉県環境研究センター
 第三管区海上保安本部
 東京都環境局
 (国)国立環境研究所

○ モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

平成30年6月21日観測結果

貧酸素水塊の分布域は前回(6月12日)よりも縮小し、現在は内湾北部の水深10～20mの海域にみられています(図1)。

縦断ラインにおける鉛直分布及び規模も縮小し、海底付近に認められるだけで厚みはありません(図2, 3)。

水温は表層19～21℃、底層16～20℃です。

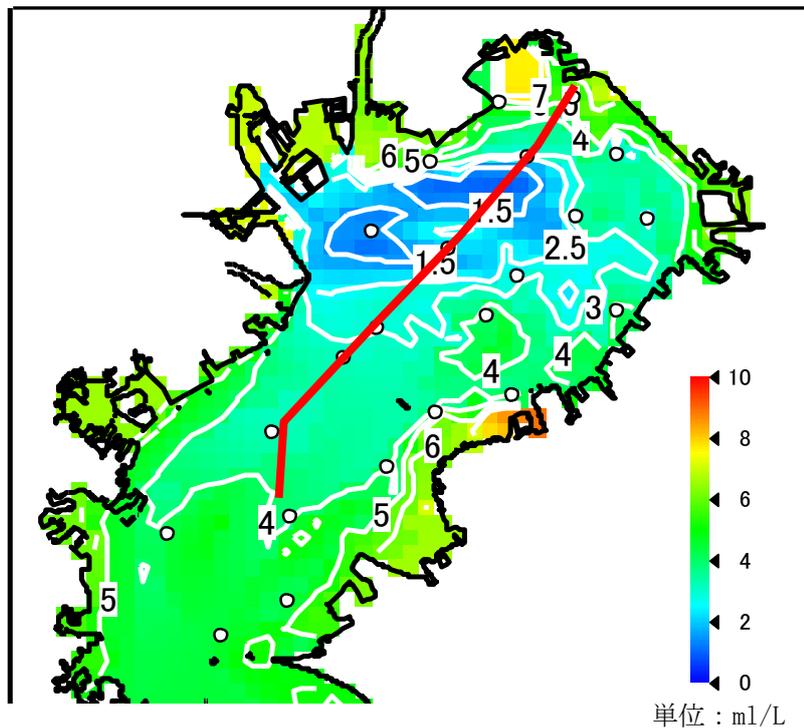


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

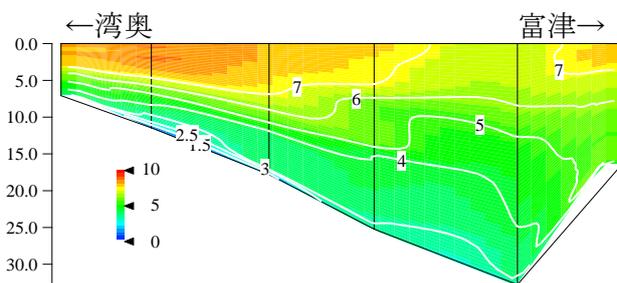


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

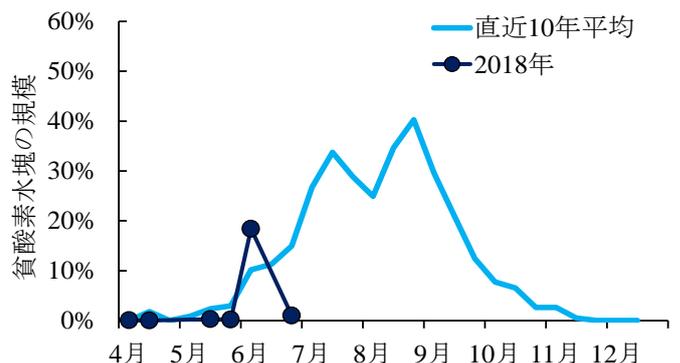


図3 貧酸素水塊の規模
(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)